

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ビジョン

リユースリサイクルが当たり前の未来を目指し、循環型社会に貢献して社会を変える。
顧客のオフィスの未来を変え、自分たちも変わる。

売上高
20,000百万円

営業利益
600百万円

経常利益
700百万円

ROE
10.0%以上

2 中長期の経営戦略

1. 顧客基盤の活用と強化

サプライ事業の顧客基盤を活用したクロスセルで、ITソリューション事業の拡大を目指す。中小企業向けに両輪で対応し、関係性を強化。

3. サプライ事業の拡販

自社ECサイト「YORIDORI」をプラットフォームとした顧客参画型の「サステナブルパートナープログラム」を提案。

2. 事業ポートフォリオの転換

ITソリューション事業を第二の柱と位置付け、経営資源を投入。サプライ事業の自社リユース製品販売で差別化し、利益をITソリューション投入。

4. ITソリューション事業拡大

複合機販売を起点とした提案型ビジネスに注力。デジタルマーケティングを駆使したEC事業の拡大を推進。

3 対処すべき課題

① 供給品市場の縮小対応

- ・ 在宅勤務やペーパーレス化により、リユーストナーや文具などサプライ用品の市場が縮小傾向。

② IT関連市場への対応

- ・ DX推進で関心が高まるIT関連市場は拡大。中小企業のITソリューション需要増加に対応した営業推進が課題。

③ サステナビリティ戦略推進

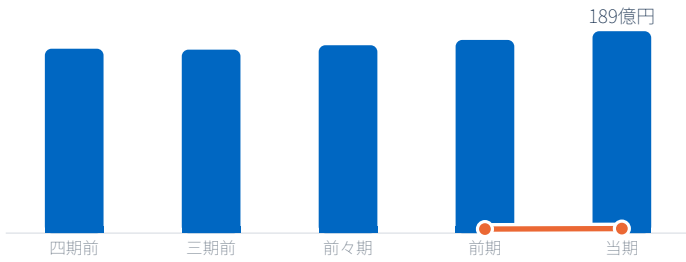
- ・ 環境貢献・DX・人材育成・ダイバーシティ・経営基盤強化の4つの重要課題（マテリアリティ）を特定し推進。
- ・ SDGsの理念を経営戦略の中心に据え、持続可能な社会実現に取り組む。

面接で使えるポイント

- ・ Growth Plan 2027で売上高20,000百万円達成を目指し...
- ・ リユーストナーなどサプライ事業の顧客基盤を活かし、中小企業向けDXソリューション提案で事業拡大を図る営業戦略。
- ・ 「YORIDORI」プラットフォームのサステナブルパートナープログラムで循環型社会への貢献と事業成長を両立。

証券コード 3035

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
189億円営業利益率
2.3%財務健康度
36点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 37.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
460万円

卸売業内 267位/282社

平均年齢
41.8歳

卸売業内 159位/283社

平均勤続
13.1年

卸売業内 156位/282社

女性管理職
8.3%

卸売業内 94位/209社

男性育休
100.0%

卸売業内 17位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

